

「トヨカツの裏側」は豊中市立市民公益活動支援センターをさらに詳しくご紹介するコーナーです



トヨカツに入ると、すぐ右側にロッカー・メールボックスが並んでいます。こちらは、団体の活動や作業がしやすいようお貸ししているものです。

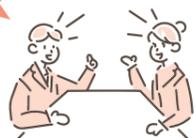
ロッカーは12個、メールボックスは48個あり、その使い方は、団体それぞれです。団体の備品管理以外にも、メンバー同士の書類の受け渡し場所として利用したり、団体向けの郵便物をセンター気付けに設定してプライベートの書類と分けたり、トヨカツ等で開催するサポート事業のチラシを仮置きするために利用したり、などなど…。

募集は年1回で、毎年更新していただきます。空いている場合は、随時、貸し出しを行っています。

※ロッカー・メールボックスの空き状況はスタッフまでお問い合わせください。

トヨカツ Newsletter
主な事業紹介

どなたでも



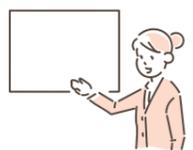
ちゃぶだい集会

日ごろ起る疑問や課題解決に向けたヒントなどをみんなで持ち寄り、わいわいと語り合う集いです。



トヨカツcinema

多様化する地域課題・社会課題について、映画をきっかけに知り、語り合う場です。昼の部、夜の部の2回上映。



ボランティア入門講座

これからボランティアを始める方、興味のある方に向けて、ボランティアの心得、活動を続けるコツや事例を紹介します。

これらのイベントに参加いただくとマチカネポイントが貯まります！

団体向け



おでかけ相談会

トヨカツを飛び出し、豊中市内各所にて団体運営に関する相談会を開催しています。



ピンポイント講座

会計や広報など、市民活動を行う上で役立つ情報を講座・セミナー形式でご紹介します。



マッチング交流会

公共施設で働く人と「協働」したい団体をつなぐ交流会です。市内各所で随時開催。



オンラインサポート

PCやアプリの使い方からSNS等の運用相談まで、市民活動のお手伝いをしています。

豊中市立市民公益活動支援センター

住所：豊中市庄内幸町4-29-1(庄内コラボセンター1階) [開館時間]午前10時から午後7時まで
(阪急宝塚線・庄内駅より約800m) (水曜・金曜は午後9時まで)
TEL：06-6398-9189 [休館日]日曜・月曜・祝日・年末年始
FAX：06-6398-9209 (12月29日～1月3日)
MAIL：toyonaka.npo@jcom.zaq.ne.jp



トヨカツのSNSをぜひチェックしてみてください！



tame

未来バトンリレーションフォーラム2025を開催

～きみたちは、どう活(い)きるか～

このフォーラムは、多様な世代・ステージの人が新たな活動の一步を踏み出すきっかけとなることを目的として企画しました。

当日は、これまでの市民活動の歩みを振り返るとともに、豊中市内で活動する学生・若者グループによる活動発表を行いました。参加者と発表者とのワークショップや、ポスターセッションをとおり、多様な年代の方にご参加いただきました。



市民公益活動推進条例制定20年
市民公益活動支援センター開館2周年記念

大阪大学環境サークルGECS、大阪大学公共政策研究会、庄内ヤギ部、とよなかコースLAB、にこれる、Brass Ensemble "Palette"ほか市内高校など、のべ14団体にご参加いただきました。今後も、学生や若者世代が活躍できる場づくりができればと思います。



GROUP

団体紹介

市民公益活動支援センター[トヨカツ]を利用する団体を紹介します。サポート事業を実施している団体もありますので、ぜひご覧ください。

団体のデータベースはこちらから



特定非営利活動法人 障がい者・高齢者市民後見 STEP



障がい者や高齢者の方々に、ご本人の日常生活に市民感覚で寄り添いながら支援するという「市民後見活動」を、社会の大きな渦にしたい。という志を持って、法人設立しました。取り組んでいる社会課題は、1人暮らし高齢者の後見人等の引受け、並びに障がい者の8050問題への対応です。
主な活動として、①啓発活動～オンライン・対面の両方で「わかりやすく」をモットーに～、②相談・利用支援活動～ベストな支援プランを提供～、③後見人等の引受け～身寄りのない高齢者の後見人等の受け皿になる～があります。
障がい者福祉の充実と高齢化時代での共生社会の実現に向けて、微力ながら尽力していくとともに、迅速かつ丁寧な活動に取り組みたいです。

ネパール・サクー村支援の会



ネパール農村女性の現地における労働状況や、日本に移住し就労しているネパール人(特に女性)の生活を直に知り、女性の貧困を社会の問題として捉えることを目的に活動しています。2021年より市民公益活動団体として、現地で支援活動を行うNGOと連動し、ネパールの今をテーマに、映画上映やサクー村農村女性の手仕事(ダカ織)の販売など通して、市民と共有できる場を提供しています。
今後も、身近な外国人(ネパール人)に親しみ、互いの文化を知りあうことができる社会をめざして活動していきたいと思えます。女性の貧困を考える時、必ず教育の問題が見えてきます。学び合い、視野の広い地域になることを願っています。ぜひ、我々のイベントへ気軽に参加ください!



みんなの レポート!

豊中市内で市民活動やボランティア活動に取り組む市民の方に、リレー形式でインタビューする企画です。どんな思いで活動に参加されているのかを伺いました。



太田朱音さん
大阪音楽大学

2024年11月1日から28日までの約1ヶ月間、庄内コラボセンター3Fのパルコニーに2匹のヤギが滞在しました。私は「庄内ヤギ部」のメンバーとして、日々のお世話やイベントの企画に携わりました。週末のふれあい体験会や似顔絵大会、音楽会には予想以上にたくさんの方にお越しいただきました。特に、ヤギを観察する子どもたちの鋭い観察眼と素直なリアクションが印象的で、似顔絵はどれも本当に素敵な仕上がりでした。
ヤギを通じた新たな交流の場は、府外から庄内に通学する私にとっても貴重であり、地域の皆さまの思いやりや熱いヤギ愛を、私も存分に感じる事ができました。
奈良県から来てくれたヤギの「ピアノ」と「チェロ」、ヤギを可愛がってくれた皆さま、ありがとうございました。

トヨカツ 事業紹介



文化芸術センター 多目的室で開催

協働マッチング交流会



協働マッチング交流会は、トヨカツや市内の施設で、3か月ごとに開催しています。この事業では、豊中市職員と市民活動団体が一堂に会して、イベントや事業でコラボレーションできないか一緒に考えます。

この交流会では、集まった全員が知り合うことからスタートします。施設の特徴は何か、どんな活動をしているのか、得意な分野など…お互いの魅力を知り合ったあと、一緒に取り組めることはないかを考えたり、ネットワークを広げる時間を設けています。実際に、市民活動団体を講師に招いての企画や、ショコラフェスタでのコラボイベントをはじめとして、たくさんのマッチングが実現しています。

このほか、庄内コラボセンター「ショコラ」を飛び出して、千里文化センター「コラボ」や曾根の文化芸術センターにおいても開催しています。コラボでは、千里中央周辺で活動している団体とコラボ内の施設職員同士が繋がったり、文化芸術センターでは、音楽やアート、スポーツをテーマに団体同士新たなつながりが生まれました。

現在、地域や社会の課題が多様化している中で、複数の組織や団体が分野や立場を超えて連携することが求められています。加えて市民活動団体においては、担い手の不足や資金不足などの課題も多いため、自団体にはない技術や人材・資源を持っている組織と一緒に取り組むこと(=協働)で、より団体のめざす姿に近づけやすくなるというねらいもあります。

トヨカツはこれからも、協働マッチング交流会を通じて、それぞれの活動領域を超えてつながり合えるような、「協働のタネまき」をサポートしていきたいと思えます。